令和８年度
優良公民館群馬県教育委員会表彰

表彰館事例集

群馬県教育委員会　生涯学習課

令和８年度
優良公民館群馬県教育委員会表彰　表彰館一覧

・前橋市総社公民館

・高崎市南公民館

・東吾妻町坂上公民館

・昭和村コミュニティセンター

・桐生市桜木公民館

・館林市三野谷公民館

前橋市総社公民館

施設情報

所在地：前橋市総社町総社1583番地２
設置年月日：昭和37年10月1日
運営主体：前橋市教育委員会生涯学習課
開館時間：9:00～22:00
Ｒ７年度総来館者数：46,364人

特色ある事業（活動）

【少年教室】

◇参加対象：小中学生

◇事業内容： 子どもたちが主体的に学び、普段出会わない人たちとの交流する機会として、学習及び体験講座を開催。講座の内容は、夏に絵画、読書感想文、子ども料理教室、親子料理教室、こわいお話会、寺子屋数学を開催した。冬は、書道、地域の伝統芸能である植野太々神楽を行った。子どもたちの興味や社会の変化に応じて毎年内容や方法を工夫し、改善を重ねている。

◇事業成果：学習を手段として、学校・学年を超えた仲間づくりの場とすることができた。講師を務める地域の大人のほか、夏の教室では、中学生や大学生のボランティアとも交流を深めることができ、また、講師及びボランティアの学生共に学びの場となった。冬の講座の受講後に、生徒やその家族が、地域の行事へ参加するきっかけを作ることができた。



学習内容を深めるための取組

講座の講師は、当館で活動する自主学習グループや地域団体等を活用。ボランティアとして地元の中学生・大学生に協力を得て、交流や学びの循環を促進。太々神楽は担い手不足という地域課題があったが、講座の参加者が春の舞台に立つことができた。また関わる講師やボランティアが活動を通じて学びがある場になることを意識し講師を依頼している。

多様な利用者参加促進のための環境整備

申込は、電子申請も活用することで時間を気にすることなく申込できるようにしており、申込フォームの備考欄により、事前に合理的配慮等への申出ができるようにしている。保護者が参加する講座は、働く保護者が参加できるように土日に開催している。開催した講座の様子を公民館報を通じて周知することで、次回の講座への期待値を高めている。

自己点検・評価等の実施状況

各講座終了時に受講生に対しアンケートを実施し、適度な学習時間や講座への満足度、期待する内容等の需要を把握し、次の計画に活かしている。更に、年2回開催している公民館運営推進委員会や学校運営協議会の委員から出された意見を反映し、講座立案に取り組んでいる。地域団体や学校等とも、より連携を図っていきたい。

高崎市南公民館

施設情報

◇所　在　地：高崎市八島町110-27　※高崎駅西口徒歩４分
◇設置年月日：平成３（1991）年４月
◇運 営 主 体：高崎市教育委員会中央公民館
◇開 館 時 間：9:00～21:00
◇令和７年度総来館者数：12,601人

特色ある事業（活動）

『放課後講座 運動・あそびプログラム体験』

◇参 加 対 象　南小学校３年生～6年生

◇事 業 内 容

・「**あそび**」や「**楽しい**」という要素を入口に、走る・跳ぶ・投げるなどの基本動作をゲーム感覚で楽しく身につけ、体力や協調性を育む活動プログラム

・学校施設（南小学校体育館）を活用し、平日の**放課後**時間帯に実施
※10月～３月に概ね月２回・全12回、午後４時15分～５時45分


〈講座の様子〉

◇事 業 成 果

・保護者からの「平日**放課後**に子どもたちの**居場所**を」という相談をきっかけに始まり、令和７年度で３年目を迎えた。公民館講座が地域の小学生の安全な**放課後**の**居場所**の一つとして継続しており、さらに社会課題である小学生の運動機会の減少と体力低下の解消への取り組みとなっている。

◇参 加 実 績

令和7年度：154人（12回） 令和6年度：195人（12回） 令和5年度：124人（10回）

学習内容を深めるための取組

・参加者みんながができる・やりやすい「**あそび**」を起点にして、「**楽しい**」「**できた**」と感じてもらうことを重視

・「安心・安全な**居場所**」と「**あそび**を通じた運動能力向上」を実現するため日本スポーツ協会(JSPO)のACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)講師を招聘

・安全で体を大きく動かせる空間を確保するため、小学校の協力を得て南小体育館を活用

多様な利用者参加促進のための環境整備

・単に運動能力の向上や競争を目指すのではなく、「**あそび**」感覚を前面に出すことで、運動が苦手な子どもの心理的ハードルを緩和し、意欲的に参加できる雰囲気を醸成

・平日の**放課後**に小学校の体育館で定期開催することで、子どもだけでなく保護者も安心して参加させることができる環境を構築

自己点検・評価等の実施状況

・区長や地域団体の代表者等で構成される「公民館運営推進委員会」(年2回)において、公民館事業の企画・実施について報告・審議し、意見を反映

・参加した子どもや保護者に感想や要望等を聞き取り、講座運営や企画に活かしている。


〈公民館外観〉

東吾妻町　坂上公民館

☆ 施設情報 ☆

- **所　在　地**：群馬県吾妻郡東吾妻町大字本宿90番地
- **設置年月日**：平成6年4月1日
- **運 営 主 体**：東吾妻町教育委員会社会教育課
- **開 館 時 間**：9:00～21:00
- **R７年度総来館者数**：1853人



水田に映る本館

☆ 特色ある事業（活動）☆

【歴史探訪】

◇参加対象：町民

◇事業内容

・地域住民のニーズを把握し実施。
・坂上地区の歴史や自然に触れられる機会として本講座を開催。
・令和7年度は「大戸周辺　文化財めぐりウォーキング」と題して実施。
＜大運寺 → 大戸関所跡 → 大戸宿周辺 → 大戸平城跡
→ 畔宇治神社の石灯籠までの約2.5kmを歩いて巡った。＞

◇事業成果

・講師による丁寧で分かりやすい解説が好評。
・坂上地区だけではなく、町全体から参加応募がある。
・「理解が深まった」「楽しく学ぶことができた」など、参加者の声が多く、参加者の満足度は高い。
・リピーターが多数で、地域に根付いた講座となっている。



大運寺見学



大戸関所見学

☆ 学習内容を深めるための取組 ☆

・町教育委員会社会教育課文化財保護係職員を講師とした専門的な学習機会の提供。
・講師作成資料を活用した文化財学習の実施。
・文化財に関する知識の習得と理解の深化。
・地元文化財の見学を通した歴史、魅力への理解の促進。
・地域への愛着や誇りの醸成。

☆ 多様な利用者参加促進のための環境整備 ☆

・東吾妻町広報紙「広報ひがしあがつま」、公民館広報紙「坂上の里」、チラシの回覧、Webページを活用した、幅広い住民への情報提供と事業の周知。
・高齢者が多い地域の実情を踏まえた電話、来館による申込み受付の実施。
・受付方法の工夫による、誰もが参加しやすい環境の整備。
・継続的な参加の促進や新たな参加者の確保のために、公民館広報紙「坂上の里」及びWebページによる活動内容や事業成果の発信。

☆ 自己点検・評価等の実施状況 ☆

・講座実施後には、受講者アンケートを実施。
・講座の運営方法や内容について検証・評価を実施。
・参加者の感想や意見は、広報紙やWebページに掲載。
・事業結果の共有と情報公開の推進。
・地域住民のニーズに沿った講座内容となるよう継続的な見直しと改善。



大戸平城跡見学

昭和村コミュニティセンター

施設情報

所在地：群馬県利根郡昭和村大字糸井405番地1
設置年月日：昭和61年5月1日　　運営主体：昭和村教育委員会
開館時間：８：３０～１７：１５　　Ｒ７年度総来館者数：10,356人

特色ある事業（活動）

【ひまわり大学】

◇参加対象：昭和村在住の２０歳以上の女性

◇事業内容
昭和村は、全国トップクラスのこんにゃく芋生産地である。こんにゃくの消費量が減少傾向にあるなか、地産地消やPRを目的とした「こんにゃく料理教室」を実施した。また、人生１００年時代に、健康で生きがいのある生活のヒントとなるよう「姿勢チェック&セルフケア教室」や「ミニ門松づくり」、「モルック教室」、「１６ミリフィルム映画会」を実施してきた。
過去好評であった「春の寄せ植え教室」も実施した。



◇事業成果
女性限定とすることで、参加しやすい環境となった。その中で、交流や季節を感じる活動を通して住民同士のつながりができた。実施事業の成果が他事業と結びついた。

学習内容を深めるための取組

アンケートにより、学習者のニーズに応えられるようにしている。また、学習効果が上がるよう、体験学習を中心として、今後の活動につながる講座を開催するなど工夫に努めた。寄せ植え教室実施の際、四季に合った花や技法を学べるよう、講師の地域業者と相談し開催時期を工夫した。モルック教室では次年度にモルック大会を開催するなど、学習成果を活かせる環境づくりを行った。

多様な利用者参加促進のための環境整備

若妻会や婦人会より派生した本事業は、女性を対象とすることで参加者のニーズを生かしやすく、女性が参加しやすい環境を整えている。事業の周知については、村内の回覧板を通じて全戸に周知するとともに、『広報しょうわ』への掲載や村のホームページへの掲載を実施することで複数回の情報発信を行った。また、年間の講座内容や日程、講師を一括して広報することで、予定を立てやすく参加しやすいよう工夫した。

自己点検・評価等の実施状況

こんにゃくの価格は暴落しており、こんにゃく料理教室を実施することで地産地消の促進に努めた。講座終了後には、受講者（参加者）のニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。アンケート結果は、実施した講座や企画の見直し、新規企画の開設など内容の充実に生かしている。また、他市町村との情報交換の場を生かし、参考となる取組は積極的に取り入れ、より充実した講座開催ができるよう努めている。

桐生市立桜木公民館



施設情報

所在地：桐生市広沢町二丁目3334番地の1
設置年月日：昭和42年4月1日
運営主体：桐生市教育委員会教育部生涯学習課
開館時間：8:30～21:30 Ｒ７年度総来館者数：18,435人

特色ある事業（活動）　【外国語・異文化体験講座事業】



◇事業内容　　◇参加対象：小学生

この講座では、子どもに人気の料理教室に、外国語・異文化交流の要素を追加することで、参加児童が楽しみながら国際理解や外国語学習への意欲を向上させることを目的とした。内容としては、ALTの講師と英語に触れながらお菓子作り・英語のカードゲームで遊ぶ、①「楽しく英語も覚えられる！ハロウィンクッキング」、パキスタン出身の講師と異文化に触れながらカップケーキ作りを楽しむ、②「ズネイラさんと作るカップケーキ作り」を開催した。

◇事業成果

①では、ALTの講師が教えた調理器具の英語名を、一年後に同じ講座に参加した児童が覚えていたこと、英語のカードゲームは児童に好評で、講座の終了後も遊びたがるなど、楽しみながら外国語学習への意欲を向上させるという点で一定の成果が見られた。②では講座の中で、児童から講師の服装や、お祈りなどについて遠慮のない子どもらしい質問が出るなど、異文化について学ぶ機会になった。



学習内容を深めるための取組

①では、8年間の英語指導の経験があり、児童との触れ合いが得意な講師に指導を依頼することで、参加者のレベルに合あったやさしい内容で、英語の勉強感のない楽しいイベントとなるように工夫を行った。②では、地域で生活するパキスタン出身のズネイラさんに、母国での暮らしや文化について話を聞きながらお菓子をつくり、児童が異文化への理解を深める学習となるよう工夫した。

多様な利用者参加促進のための環境整備

公民館ならではの学びのきっかけづくりを意識し、子どもたちがお菓子作りという楽しい活動の中で外国語や異文化にふれる体験の提供に努めた。また、①ではお菓子作りのレシピを片面ずつ日本語と英語の両面印刷して配布をすることで、自宅でもう一度お菓子作りに挑戦する時に、あらためて英語にふれる機会ができるようにした。②では、生成AIを活用したコミック風のイラストをチラシの挿絵に利用することで、子どもの関心を引く工夫を行った。また、申し込みはこれまでの電話受付から、QRコードを利用したスマートフォンからのオンライン申請に変えることで、より参加のしやすい環境整備を行った。

自己点検・評価等の実施状況

開催後の参加児童へのアンケートでは、いずれの講座でも参加者全員がまたこの講座に参加したいという回答であった。また、保護者からのフィードバックでは、講座で覚えた英語を自宅で披露してくれた、さっそく家でもお菓子を作ってみたという話を伺った。

館林市三野谷公民館

施設情報

所在地：群馬県館林市上三林町１１３
設置年月日：昭和５６年４月１日　　運営主体：館林市教育部生涯学習課
開館時間：月～土 午前９時～午後１０時、日・祝 午前９時～午後５時
Ｒ７年度総来館者数：15,854人

特色ある事業（活動）

【伝統芸能継承事業「上三林のささら」】

◇参加対象：三野谷地区在住の児童・幼児

◇事業内容
　地域に伝わる市指定重要無形民俗文化財「上三林のささら」の伝承活動を通じて、子どもたちが地域の伝統文化の大切さを理解するとともに、「仲間づくり」「幼児や低学年児童に対する思いやり」「目上の人を敬う」など、社会性や協調性を養い、ふるさとへの愛着や誇りを深めることを目的としている。

◇事業成果
令和７年度
・上三林雷電神社秋季例大祭にてささらを奉納（ささら舞を披露）
・三野谷公民館まつりにて、ささら舞を披露
・群馬県教育文化事業団主催の行事「受け継がれる群馬の獅子舞」にて、ささら舞を披露



学習内容を深めるための取組

　地元区長や地域住民を中心に組織する「上三林ささら保存会」に講師として依頼し、伝統芸能継承事業の学級生（参加してくれている子どもたち）へ、ささら（獅子舞、棒術、笛）の指導を行っている。

多様な利用者参加促進のための環境整備

　令和５年度までは参加対象者を「上三林地区在住の児童・幼児」としていたが、令和６年度から参加対象を「三野谷地区在住の児童・幼児」に拡大し、三野谷地区としての伝統芸能の継承に取り組んでいる。

自己点検・評価等の実施状況

　地元区長たちを中心とした地域住民ならびに上三林ささら保存会と連携を密にしており、毎年事業の継続ができている。